

## 教授会議事録

日時：平成23年6月14日（火）14時25分から18時15分

場所：電気通信研究所大会議室

震災により移転してきた教授から挨拶があった。

### 議事録の確認

平成23年5月10日（火）開催の定例教授会議事録及び平成23年5月17日（火）開催の臨時教授会議事録について、承認した。

### I. 報告事項

#### 1. 学内外諸会議等報告

##### (1) 部局長連絡会議

議長に代わり出席した副所長から、5月13日に開催された部局長連絡会議について、配付資料に基づき以下の報告があった。

- ①平成23年度予算について
- ②平成23年度教員人件費の配分について
- ③平成23年度補正予算について
- ④情報化推進の実施状況について
- ⑤勤勉手当に係る勤務成績優秀者の推薦について
- ⑥平成23年度科研費内定状況及び基金化について

議長から、6月7日に開催された部局長連絡会議について、配布資料に基づき以下の報告があった。

- ①国立大学協会理事会について
- ②東北大学災害復興新生研究機構について
- ③平成24年度概算要求について

なお、全国共同利用・共同実施分として情報通信共同研究拠点事業費が要求されていること、また施設整備費で新研究棟が要求されているとのことである。

- ④青葉山新キャンパス整備事業について
- ⑤平成23年度内部監査基本計画書について
- ⑥東北大学東日本大震災学生ボランティア支援室（仮称）の設置について
- ⑦東日本大震災等により被災した学生に係る緊急支援について
- ⑧平成23年度総長裁量経費について
- ⑨平成23年度の大学院入学状況について
- ⑩博士課程教育リーディングプログラムについて
- ⑪RU11 シンポジウムについて

##### (2) 教育研究評議会

5月13日に開催された教育研究評議会について、配布資料に基づき以下の報告があった。

- ①災害復興新生について
- ②史料館公文書室の設置について

引き続き6月7日に開催された教育研究評議会について、配布資料に基づき以下の報告があった。

- ①教育研究評議会が推薦する総長候補者の選考における総長候補適任者の選出について
- ②井上プラン2011年度改訂版（案）について
- ③第2期中期目標及び平成23年度年度計画の一部変更について
- ④第1期中期期間に係る業務の実績に関する評価の確定について

⑤平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

(3) 研究所長会議

議長から、5月13日に開催された研究所長会議について、片平まつりにおいて研究所間の連携を示す展示を行うこと、また通研の青葉山移転が中止になり、研究所間の連携をより一層図っていくことが報告された。

(4) 情報シナジー機構全学情報化戦略会議

議長に代わり出席した副所長から、6月1日開催された情報シナジー機構全学情報化戦略会議について、配布資料に基づき全学情報システムに関する震災からの復旧・復興に係る課題について報告があった。

(5) 学生生活協議会

5月9日開催された学生生活協議会について、配布資料に基づき報告があった。

引き続き6月13日開催された学生生活協議会について、以下のとおり報告があった。

- ①震災に係る寄宿料免除の検討を行ったこと。
- ②震災関連ボランティアに参加した学生のメンタルケアに注意して欲しいこと。
- ③ここ2か月で学生の死亡が相次いでいるので、早めに学生相談所へ相談して欲しいこと。

なお、議長から来月学生メンタル対策講習会を予定していることが付言された。

(6) 国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会

5月20日開催された国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会について、博士研究教育院生、修士研究教育院生とも募集を開始した旨報告があった。

(7) 附属図書館商議会

6月6日開催された附属図書館商議会について、配布資料に基づき以下の報告があった。

- ①平成23年度共同購入雑誌の負担率が承認されたこと。なお、本来新しい負担率が適用される予定であったが、震災等の理由により昨年度同様の計算となったこと、来年度以降新しい負担率に移行していくことで同意したことが説明された。
- ②震災による附属図書館の被害状況について報告があったこと。
- ③本日附属図書館創立百周年記念イベントが開催されていることが説明された。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画委員会

研究企画委員会について、以下のとおり報告があった。

- ①機構について検討を行ったこと。
- ②科研費の採択率について検証したこと、また全学的に見て通研の増加率が小さいので対策を検討する必要があること。

(2) 安全衛生委員会

5月24日開催された安全衛生委員会について、以下のとおり報告があった。

- ①震災により「頭上注意」と掲示している箇所について応急措置を施すこと。
- ②防災訓練を9、10月頃実施予定であること。
- ③消防訓練を本館対象で7月頃実施予定であること。
- ④安全衛生講習会が無事終了したこと。なお、新規所属で未受講者は安全衛生管理室へ連絡して欲しいとのことである。

⑤7月12日13:00から学生相談所の池田准教授を講師とし、学生メンタル対策講習会を実施予定であること。

(3) 総務委員会

オープンキャンパスについて7月28日、29日に開催予定であり、昨年同様の展示を予定していること、また片平まつり（通研公開）について10月8日、9日に開催予定であり、昨年同様公開実験・展示を予定していることが報告された。

(4) 環境マネジメント推進委員会

節電対策について6月13日に電力削減全学実証実験が行われたこと、またそれに先立つ6月1日に通研では独自に実証実験を行ったことが報告された。通研では照明・空調を消すことで約14%の削減になり全体で約20%の削減となったが、今後各研究室等では積極的に節電を行い、緊急指令発動の際には協力願いたい旨説明があった。

なお、緊急指令発動の全館放送の際にはフェーズの指示だけではなく、具体的な行動まで放送して欲しいとの要望があった。

(5) 学部教務委員会

5月31日に開催された学部教務委員会について、配布資料に基づき以下の報告があった。

- ①学部奇数セメスター成績報告について、web成績登録期間が第1期(8/8~8/23)と第2期(9/7~9/16)に設定されているが、9月卒業判定の日程上可能な限り第1期期間中に登録して欲しいこと。
- ②受験者減少への対応として、出身高校上位50校へ電気系の現状を知らせる手紙を送付しているが、教員の出身高校にも一筆添えた形で手紙を送付して欲しいこと。

(6) 電気・情報系進路指導委員会

推薦者の内々定状況が報告された。不合格の学生に対して、今後の活動についての相談やアドバイスをしたい旨依頼があった。

3. その他

(1) 平成23年度科研費採択状況について

議長から、配布資料に基づき申請数・採択数・金額とも増加したとの報告があり、今後もより多く申請して欲しいとの説明があった。

なお、研究企画委員会の資料とは区分の仕方が違うので採択率が違っている旨説明があった。

(2) 勤勉手当にかかわる勤務成績優秀者の推薦数の大幅増加について

議長から、昨年度に比べ成績優秀者の推薦数が大幅増加したことが報告され、通研の成果が認められ、評価が高かったと考えられるとの説明があった。

(3) 平成23年度達成目標設定シート及び総長ヒアリングについて

議長から、配付資料に基づき平成23年度の達成目標設定シート及び総長ヒアリングについて説明があった。部局長の運営方針等が記載されているので目を通して欲しいとのことである。

(4) 職員及び学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(5) 平成22年度所長裁量経費について及び平成22年度通研間接経費使途報告

事務長から、配布資料に基づき報告があった。

(6) 平成22年度電気通信研究所研究教育助成金経理報告  
事務長から、配布資料に基づき報告があった。

(7) 受託研究の受入について  
議長から、配布資料に基づき報告があった。

(8) 民間等との共同研究の受入について  
議長から、配布資料に基づき報告があった。

(9) 研究所等研究生の退学と受入について  
議長から、配布資料に基づき報告があった。

(10) リサーチ・アシスタントの採用について  
募集をしていた平成23年度のリサーチ・アシスタントについて、採用状況が報告された。なお、後期に再度募集があること、また来年度はGCOEが終了することから申請者数が増加することが予想されるので対応策を検討することが説明された。

(11) 研究交流会について  
研究交流会について以下のとおり報告があった。

①7月29日13:30から18:30を予定していること。

①発表は博士後期学生や助教などの若手研究者を中心とし、研究内容を中心に発表の内容は問わず、専門外の者でも理解できる内容にすること。

②座長は各部門長が行うこと。

③講演は全ての研究室ではなく半数程度とし、各部門長に選定依頼する予定であること。

④懇親会には幅広く参加して欲しいこと。

なお、次回教授会でプログラムを示すこととした。

## II. 協議事項

### 1. 准教授人事について

(1) ブロードバンド工学研究部門超高速光通信研究室准教授候補者について、配布資料に基づいた研究業績等の詳細な説明の後、准教授への特別昇任提案があり、投票を行った結果、承認した。

(2) 情報デバイス研究部門量子光情報工学研究室准教授候補者について、配布資料に基づいた研究業績等の詳細な説明の後、准教授への特別昇任提案があり、投票を行った結果、承認した。

(3) 人間情報システム研究部門先端音情報システム研究室准教授候補者について、配布資料に基づいた研究業績等の詳細な説明の後、准教授への特別昇任提案があり、投票を行った結果、承認した。  
引き続き、配布資料に基づき昇任を承認された3名に対する研究分野について説明があり、検討の結果承認した。

### 2. 共同プロジェクト研究 Urgent の新設について

配布資料に基づき共同プロジェクト研究 Urgent の新設について提案があり、検討の結果、この経費は所長裁量経費であること、所長会議で決定すること、緊急的措置のため公募をする時間が無いため通研教員を代表者とする、今年度限りの募集でありタイプSに準拠したプロセスであることが説明され、承認した。

### 3. 非常勤研究員の任用（新規）について

議長から、配布資料に基づき非常勤研究員の新規任用について提案があり、承認した。

#### 4. 総長選挙について

議長から、配布資料に基づき、教育研究評議会が推薦する総長候補者意向投票の投票資格者のうち、助教については教授会の承認が必要である旨の説明の後、提案があり承認した。なお、配布資料は回収された。

#### 5. 東北大学電気通信研究機構（仮称）の創設について

議長から、配布資料に基づき、新機構の創設について説明があった。

また、以下のとおり補足説明があった。

①WGで検討した結果、東北大学電気通信研究機構（仮称）としたが、今後も名称は変わる可能性はあること。

②通研全体が機構に参加することになればよいが、参加しない研究者がいることはあり得ること。

③当初は震災復興に関する研究を中心に行い（フェーズ1もしくはステップ1）、その後機構のメリットを見出し10年位で通研全体が機構に参加するようになればよいと考えている。

なお、機構創設を検討するワーキンググループについて、既に活動しているが正式に認めて欲しいこと及びメンバーは9名で構成したい旨提案があり、承認した。

引き続き意見交換を行い、検討の結果、配布資料については了解したと判断すること、フェーズ1については創造的復興中心ということですのですぐに取り組むこと、フェーズ2についてはその結果により、その後革新的研究を中核とした方向で検討すること、機構への参加は各個人が決めることができること、プロジェクト名を入れることを確認し、研究教授会へはこの資料自体を示すのではなく今日の議論を踏まえWGで再検討し、メール審議を行い意見を集約してから青葉山へ提案することとした。

### III. その他

#### (1) 平成23年度各種委員会名簿について

配布資料に基づき平成23年度各種委員会名簿の最終案が説明され、訂正等あれば今週中に事務へ申し出て欲しい旨依頼があった。

#### (2) 片平まつりについて

片平まつりについて以下のとおり説明があった。

①10月8日、9日に開催されること。

②研究所全体の展示を行うこと。

③震災復興に対する取り組みを各部局で紹介すること。

開催にあたりいろいろとお願いすることになるので協力願いたい旨依頼があった。

#### (3) 平成23年度通研国際シンポジウム開催予定一覧について

配布資料に基づき震災に伴い一部変更となったことが報告された。

なお、通常は教授会にて報告は行っていないが今回は大幅な変更であるので教授会にて説明すること、また今回に限り仙台以外での実施を認めたことが報告された。

#### (4) 通研シンポジウム「災害に強い情報通信ネットワークを考える」の開催について

配布資料に基づき明日開催予定のシンポジウムについて説明があり、多数参加願いたい旨依頼があった。

#### (5) 次回の開催について

平成23年7月12日（火）14:00から開催することとした。

以上